

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 3月えんだより

3月聖句：「主よ、あなたの道をお教えてください。」 <詩編 86 篇 11 節>

今年度の最後の月を迎えます。この1年間、子ども達と保護者の皆様、そして先生達と共に歩むことができましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございます。進級、進学の節目を迎える時に一年を振り返り、新たな一年を見据える時を持ちたいと思います。

園では一日が「お祈り」をもって始まります。子ども達のお祈りをする姿はとても可愛らしく、目をつぶって黙っている姿、そわそわして落ち着かない姿、何となく手を組んでいる姿もありますが、子ども達の「今」を表す姿にどれも愛おしく思います。お祈りは、簡単にいいますと神様との親密なコミュニケーションで、人と同様に信頼関係が必要ですが、お祈りでは、神様に様々な事を一方的に願い求めることが多いのが事実です。一方的に伝えるだけではなく、神様の御心を慕い求め、信じる心で、神様からの語りかけを聴く時でもあるのです。ゆえにお祈りは、一方通行ではなく「信仰のキャッチボール」とも呼ばれています。一人で壁にボールを当てて拾うのではなく、相手に投げる存在と相手のボールを受け取る存在があって成立します。

最近、就職前の学生や若者は、自分が歩きたい道を主張し、様々な意見は聴かずに、自分の思いのみで突き進む人が大勢いると就職を担当する先生方からお聞きします。人生の大切な道を選択する時に、「この道で良いのだろうか」「自分に与えられた道なのだろうか」等と考えるよりも「私の道」のみを追求し、世の人が行く道へと何となく流れていく傾向があるのかもしれない。

イエスは「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広い…。いのちに至る門は小さく、その道は狭く」（マタイ 7:13-14）と言われます。たとえ、人の目には隠れてはいても、天の大通りにつながる道のことをいいます。それこそが平安と平和の道であるというのです。毎日の生活の中では立ち止まることも難しく、時に流されていくのも事実です。「主よ。あなたの道を私に教えてください。」と、自分の思いを少し横に置き、これは神様の求める道なのでしょうかと、祈りの中でこれからも共に歩み続けていきたいと思えます。

年主題 「ともにつむぎだす」～希望の中で～

3月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	おおきくなった	心はずませて
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> *大きくなったことを喜ぶ *自分でできるという気持ちやしたいという意欲をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> *神さまの守りの中で、大きくなったことを喜び、感謝する *新しい生活へ安心して向かおうとする *友だちと協力し、アイデアを出し合い、工夫し遊びを充実させる
	つくしのように <幼児讃美歌 58>	つくしのように <幼児讃美歌 58>